

## 第 28 回 金沢自転車ネットワーク協議会 議 事 概 要

日 時：令和 6 年 4 月 16 日（火）14:00～15:30

場 所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
  - (1) 令和 5 年度の取組報告
  - (2) 金沢自転車事故対策研究会の活動報告
  - (3) 金沢市内の自転車ネットワーク路線の見直しについて
  - (4) 今後の予定
4. 閉会

### 議 事 要 旨

#### ■令和 5 年度の取組報告

◎令和 5 年度の自転車通行空間の整備状況の進捗や自転車に関する取組報告を行った。

#### ■金沢自転車事故対策研究会の活動報告

◎街頭指導の情報提供や PR など 10 代の自転車事故率を下げる取組や、デンマーク式自転車教室を継続的に実施する仕組みが必要である。

#### ■金沢市内の自転車ネットワーク路線の見直しについて

◎「暮らしやすいまち」という観点で、自転車のみならず、公共交通全体を移動手段と捉え、ネットワークを検討することが必要である。

#### 【第 28 回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



## 委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	公立小松大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10・11次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 宮永 裕嗣	代理出席 課長補佐 若宮 佑介
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 伊藤 悦隆	代理出席 課長補佐 宮下 真希
	金沢中警察署 交通官 西村 泉	出席
	金沢東警察署 地域交通官 濱本 宏一	出席
	金沢西警察署 地域交通官 森岡 裕生	出席
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 小林 智子	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 小寺 基	代理出席 課長補佐 高田 充伯
	石川県 土木部 都市計画課長 高橋 将憲	代理出席 課長補佐 山下 順也
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 村本 貴之	出席
	金沢市 都市政策局 交通政策課長 古谷 健	代理出席 担当課長 中山 哲也
	金沢市 土木局 道路管理課長 伊藤 鋭和	代理出席 担当課長 小林 勝俊
オブザ ーバー	野々市市 建設部 土木課長 塩田 建	出席
	白山市 建設部 土木課長 窪田 浩之	出席
	津幡町 産業建設部 都市建設課長 松岡 隆司	出席
	内灘町 都市整備部 都市建設課 渡辺 崇	欠席

※ 敬称略

## 議 事 概 要

○各委員、●事務局

### ■開会

#### ●事務局（金沢河川国道事務所計画課 中川保全対策官）

定刻となりましたので、ただいまより第28回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局で司会を務めます、国土交通省金沢河川国道事務所計画課の中川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本来であれば、本会議は2月に開催予定でしたが、能登半島地震の影響で本日の開催になりましたことをお詫び申し上げます。

それでは、開会にあたりまして、高山会長よりご挨拶をお願い致します。

### ■会長挨拶

#### ○公立小松大学教授 高山会長

今日は非常に良い天気ですが、昨日の雨風で少し桜が散ってしまいました。風が強かったこともあり、栗津キャンパスの周りの桜も散ってしまいましたが、桜吹雪になっておりそれはそれできれいだなと思います。思い返すと昨年4月の初めに1日半かけてしまなみ海道を踏破したことを思い出します。ただ年もあり非常に大変だったと一年経っても思います。

さて、この協議会も発足して十数年が経ち、資料を見させていただきますと、自転車通行空間の整備延長は昨年度末で44km整備されたということです。ここ2～3年は1.5km/年のペースであった一方で、去年は2.2km/年であったとのことで、この調子で整備をお願いしたいと思います。予算や地元との協議などもあり、なかなか思い通りにならないところもあるかもしれませんが、整備が進めば利用者にとっても良いことになると思っております。

年3回ほど行っている勉強会や協議会も定着してきたことは良いことである一方で、もう少し活性化しても良いのかなとも思っております。会長として好き勝手言わせていただきましたが、皆様のご協力とご助力に感謝を申し上げます。今日はよろしくお願いいたします。

### ■議事

#### (1) 令和5年度の実績報告

#### ○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

P.12 について、金大・杜の里エリアでまちのりの実験を行ったとのことですが、どのような成果がありましたか。

●事務局（金沢市都市政策局交通政策課 谷津主査）

まとめとしては、金大・杜の里エリアは公共交通全体の需要創出やクルマの依存脱却、まちなかの活性化の観点から、実験エリアとして相応しい地区の一つであると考えております。ただし、まちなかのサービスエリアから少し離れていることで運営の負担がかかってしまうため、自転車の台数増加やポート容量の拡大、再配置人員の確保などの対策を行うことで設置は可能であると考えております。需要はある程度あると想定しています。

○公立小松大学教授 高山会長

県は一般国道 359 号で自転車通行空間の整備を進めていますが、今後の予定はどのようなになっていますか。いま舗装工事を 0.2km、歩道の拡幅をした箇所は一部ありますが、他のところは既にできているのでしょうか、もしくは今後行うのでしょうか。

●事務局（石川県県央土木総合事務所維持管理課 黒田係長）

令和 3 年度は設計調査に着手したところであり、(P. 9 で)「R 4 年度より整備中」と記載しているところが初めて工事に着手したエリアとなります。工事は始まったばかりということになりますが、今年度は予算を確保いただいたので、引き続き整備を進めていきたいと思っております。まずは桜丘高校に向かって山の上から鳴和交差点の山側まで今年度の工事発注を頑張っていきたいと思っております。

○公立小松大学教授 高山会長

小坂交差点まで整備するにはどのくらいかかりますか。

●事務局（石川県県央土木総合事務所維持管理課 黒田係長）

山の上から鳴和交差点までの倍の距離になりますので、3～5 年ほどかかると想定していただけますと幸いです。

○公立小松大学教授 高山会長

何とか 3 年くらいで頑張っていただければと思います。

## （2）金沢自転車事故対策研究会の活動報告

○地球の友・金沢 三国 成子委員

補足として、市役所の方と実施したデンマーク式自転車教室は予約制だったのですが、当日知ったという方が結構いらっしゃいました。そしてもう一点、神田交通公園での自転車に関する金沢市の取組もあるのですが、なかなかお子さんに自転車の乗り方を教える場所がなく、自転車に乗れないお子さんが以前より増えているということを指導員の方から聞いております。デンマーク式自転車教室のように幼少期から自転車に乗ることができる環境

が今後増えれば良いと思います。また、教室を見に来られた市議会議員の方が、子ども食堂でもデンマーク式自転車教室を実施したいとのことで、2月に実施予定でしたが、能登半島地震の影響で実施できませんでした。そのようなところでも実施できれば良いと思っております。

#### ○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

補足として、金沢自転車ネットワーク協議会のように自転車に特化した協議会は全国的に見ても非常に珍しいです。まして、5年前から定期的に行っているという例は更に少ないです。事故が起こってからではなく、危ないところを分析して事前に対策を、ということを考えております。

また、京都市の大宮公園でなぜデンマーク式自転車教室をやっているのかということ、やはり教育するのは大事であろうということが理由です。デンマークでは子供の時に自転車に乗らないと、その後もずっと乗らないと考えられており、子供の教育に力を入れてきたという背景があります。また、大宮公園は金沢の神田交通公園と同じで狭く、今後石川県全体でこのような取組をやっていくためには新しい動きが必要ということで参考にさせていただきました。

また、P. 6～8について、金沢市の自転車関連事故の発生件数は令和4年度に159件と若干減少しました。コロナ禍で自転車に乗る人自体が減っていたのが、4年ほど経ってだいぶ戻ってきたと思いますが、それでも事故件数は少ないままです。警察はデータを公表していますが、逐一数字を出して協議会で検討している事例は全国的に見てもほとんどありません。

この関係で5年前、長野県伊那市が金沢自転車ネットワーク協議会の視察に来ました。伊那市では中学生の半分が自転車通学とのことで、通学路の安全点検を行いました。伊那市や長野県、国道事務所、長野県警と協力して対策を行っております。また、近年は中学生もパソコンを使用して、いろいろなデータを得たりプレゼンを行ったりとデジタルを活用しています。金沢の事例を引き継いで伊那市は取り組んでおり、事故データの経過はまだあまり報道されておませんが、だんだん良くなっているのではないかと思います。このような取組は全国で見ても本当に少ないです。

金沢の場合は、平成20年からの自転車関連事故の変化率が全国平均と比較して20ポイントほど低く、そこから更に下げるといのはなかなか難しいので、従来のやり方だけではなく新しい知恵を出すことが必要であると考えております。そして、もう一度現場を確認したり、10代の事故が増えてきたため高校生を対象とした対策を取ったりということが必要になってくると思います。

#### ○公立小松大学教授 高山会長

デンマーク式自転車教室は非常に良い取組であると考えております。ただ、一度に取り組

める人数はせいぜい10人程度と、あまり多くなく、金沢市の全幼児を対象にしようとする  
と何十年もかかってしまいます。市が機材を購入したのであれば、保育園・幼稚園に機材を  
貸し出し、教室を開催するためのスタッフの教育を民間事業者に委託したり、あるいは国が  
費用を出すなどしながら、保育園・幼稚園の先生方を教室に取り込んでいってはどうでしょ  
うか。保育園・幼稚園にある運動場で10人ぐらいを対象に少しずつ取り組めば、1年間で  
多くの幼児を対象に指導できるのではないかと思います。ぜひ保育園・幼稚園でそのような  
取組をするための仕掛けを作っていただけると面白く、国も自転車を購入する流れになる  
のではと思っております。

また、10代の事故が増えているという件について、自転車通行空間として整備した区間  
を中心に街頭指導を行っておりますが、効果がなかなか出てこないというのが現状です。情  
報提供やPRが足りていないのでは、と考えております。ホームページに書くだけでなく、  
InstagramやFacebookで投稿し「いいね!」を稼ぐとよいのではないのでしょうか。

#### ○地球の友・金沢 三国 成子委員

いま高山先生の方からお話のあった機材の貸し出しということについて、京都の大宮公  
園でデンマーク式自転車教室を行う前は、試験期間として各幼稚園に出向いて行っていま  
した。市民自転車学校プロジェクトという民間団体にお願ひし、その過程で教育委員会も動  
き、カリキュラムに入れてもらえることになりました。そして、プロポーザルで決まった自  
転車屋が定期的実施し、大宮公園に各幼稚園や小学校の子どもが集まるようになりました。  
このような経緯がありますので、金沢でも段階的に戦略を立てて実施すれば良いかと思  
います。

### (3) 金沢市内の自転車ネットワーク路線の見直しについて

#### ○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

参考意見になりますが、最近ヨーロッパで、自転車交通を重要な交通手段の一つとして推  
進することになったとニュースがありました。ヨーロッパとの大きな違いとして、金沢の場  
合は、事故対策という観点で自転車に関する取組を行ってきたという点があります。一方ヨ  
ーロッパでは、環境問題あるいは気候変動対策の重要な足として自転車が位置付けられて  
おります。また、気候変動対策という観点では、公共交通が非常に重要な位置を占めており  
ます。つまり、自転車と公共交通はクルマから如何に交通モードをシフトさせるかというこ  
とについて様々な議論がなされています。

その観点で言いますと、金沢自転車ネットワーク協議会は、去年の勉強会で初めて自転車  
だけではなく金沢市の交通全般として公共交通も取り上げました。これは、新型コロナウイルス  
の影響でバスの運行本数が大幅に無くなり、高齢化社会に向けて公共交通の将来が大  
きな不安材料となっていたためです。このように、公共交通と自転車の連続性を考えてみて  
も良いのではないかと思います。金沢の場合は鉄道やバスとの連携や、通勤圏というこ

とを考えると、金沢市だけでなく野々市や津幡町、内灘町など隣接市町との連携も考えられます。ネットワーク路線を考えるのならば、このような公共交通という視点も大事なのではないのでしょうか。

最後に、世界的な自転車の会議がベルギーのゲントというところで開催されます。ゲントは非常に自転車交通が発達しており、公共交通も非常に充実したことで事故が大幅に減少しました。また、ゲントは金沢の姉妹都市でもあるため、そこから学ぶのも良いのではないのでしょうか。どのような施策を基に自転車ネットワークに関する検討を進めているのかということ踏まえ、今後の見直しに繋げていきたいと思えます。

#### ○地球の友・金沢 三国 成子委員

西部緑地公園に行く際に、クルマではなく公共交通や自転車で行こうと思うと、バスの本数が非常に少なくなっており、クルマで行くことしか想定されていないと思えました。また、自転車で行こうと思っても安全な道が分からないため、西部緑地公園以外でも子ども達が安全に通行できる道を確保していただけたらと思います。

アメリカのポートランドでは、図書館など子ども達の利用施設は自転車でのアクセスが安全に整備されております。そして、クルマにとって走りやすい道路と自転車にとって走りやすい道路が色分けされていることで、多様なモビリティに配慮されています。単に自転車のためではなく、子ども達自身の社会的自立のために自転車で安全に移動できる環境を作るという考えで、自転車ネットワーク路線を考えていただきたいと思えます。また、クルマを利用しなくて済む際は、可能な限り自転車や公共交通を利用して、もっと社会の中に入っていくことができるようなまちづくりが進めばよいと考えております。

#### ○公立小松大学教授 高山会長

県警は交通安全の主体として、それ以外も含めてどのようにお考えでしょうか。

#### ○石川県警察本部交通部交通企画課 若宮課長補佐

有識者の先生方を含めていろいろと取組をしてくださっていて驚きつつ、素晴らしい取組だと思いつながりながら説明を聞いていました。

警察としましては、道路整備の面で、交通規制上安全に自転車が通行できるように取組を進めています。また、交通安全教育としては、例えば中高生を対象としたマナー検定を実施し、正答率の低いところを重点に教育しています。生徒はタブレットを持っているため、それを利用して回答してもらうことで自動的に集計され、リアルタイムで目の前にいる生徒たちがどこが一番理解できていないか、どこを重点的に教えられるかを知ることができます。そのようなデジタル機器も活用しながら生徒への安全教育を進めています。

また、SNS も利用して発信しています。安全教育はなかなか一筋縄ではいきませんが、何もやらず手をこまねくわけにもいかないのです、デンマーク式自転車教室など良い取組につ

いては知識を吸収しながら取り組んでいきたいと思ひます。

○公立小松大学教授 高山会長

今回はネットワークの見直し方針(案)ということですので、それぞれ道路管理者と協議をしながら、できることを本年度決定していただけたらと思ひます。

○金沢市都市政策局交通政策課 中山担当課長

久しぶりに出席させていただきまして、ネットワーク化も進んでいると実感しております。金沢市では自転車活用推進計画を策定し、整備だけではなく警察の方と協力しながら、ルールの啓発なども行っております。この春の交通安全運動の期間中も皆様と協力して自転車マナーアップ強化の日を行いました。街頭指導を行う時も整備がされているところは指導しやすく、利用している高校生も交通ルールを遵守しやすい環境整備が進んでおりました。警察と意見交換をさせていただく中で、自転車指導啓発地区・路線というものが指定されていることを知りました。事故が多い箇所などは警察で重点的に指導を行っているため、そのような箇所もネットワークの選定に反映できれば良いと思ひます。

#### (4) 今後の予定

○公立小松大学教授 高山会長

今回は地震の関係で開催が少し遅れてしまいましたが、昨年度分の報告ができてよかったですと思ひます。特に途中でコメントもさせていただきましたが、デンマーク式自転車教室は何らかの形で進められるように国、県、市、警察で知恵を出し合っていたらと思ひます。非常に長い取組になるかと思ひますが、自転車ネットワーク協議会も15年ほど活動してきて、少しずつではありますが走行環境の整備やマナーの向上について良い方向に向かっております。「継続は力なり」と三国先生もおっしゃっておりますが、このような取組は金沢市や石川県でしか行われていないと思ひますので、いろいろな方の努力や知恵を結集して取り組んでいけたらと思ひます。

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

いま世界的に見てパリが自転車注目されており、オリンピックも開催されるため、自転車の動向について注視してほしいと思ひます。

また、ニューヨークも注目されており、ニューヨークもパリも10年足らずで自転車に対する考えが大きく発展しました。オランダやデンマーク、ドイツだけではなく、例えばハンガリーや先ほどのパリ、ニューヨークといった新しい都市がどんどん注目されています。全体的に共通して「暮らしやすいまち」という言葉が目的としてよくできます。人々の生活の質を豊かにするために自転車やその他の交通があると考えられております。自転車だけではなく、「暮らしやすいまち」の考えのもと、10年足らずで大きく発展するというのが世

界の状況であり、新しい機器なども活用していくことが今の世界の流れなのではないかと考えております。

○公立小松大学教授 高山会長

自転車事故対策研究会では、10代の自転車事故率が高い原因やどこで発生しているのかということについて一件ずつ調べていただき、10代の事故率を下げるような研究に2～3年かけてじっくりと取り組んでいただきたいと思います。

○地球の友・金沢 三国 成子委員

4月23日にお台場でシンポジウムがあるのですが、民間と警察とが一緒になって交通安全教育について取り組んでいく必要があるという動きがあります。警察庁は交通安全教育に問題があるという意識があるため、そのようなことも念頭に置いていただけたらと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所計画課 水野課長）

金沢は中高生の事故の割合が特に高くなっています。ただ金沢は、全国的に見ても先駆的に自転車の取組をしていますし、様々なところからもそのような声は聞いています。金沢特有の培ってきた知見を駆使していきながら、金沢河川国道事務所としても金沢都市圏、ひいては石川県全体の自転車ネットワークについて、そして自転車をどのように気持ちよく使っていただくかということについて、本日お集まりいただいた皆様と協力しながら検討していけたらと思いますので、まずは一年間どうぞよろしく願いいたします。

本日はその中でも自転車ネットワーク路線の見直しに関する話をさせていただいたかと思っておりますので、これからは見直しの具体的な議論をさせていただけたらと思います。次回の協議会は8月ごろを想定しておりますので、よろしく願いいたします。

—以上—